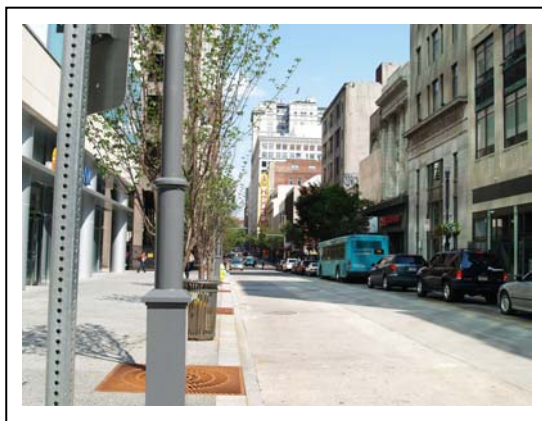


アメリカ紀行 車の旅 3

2010年6月25日(金)～28日(月) ピッツバーグ

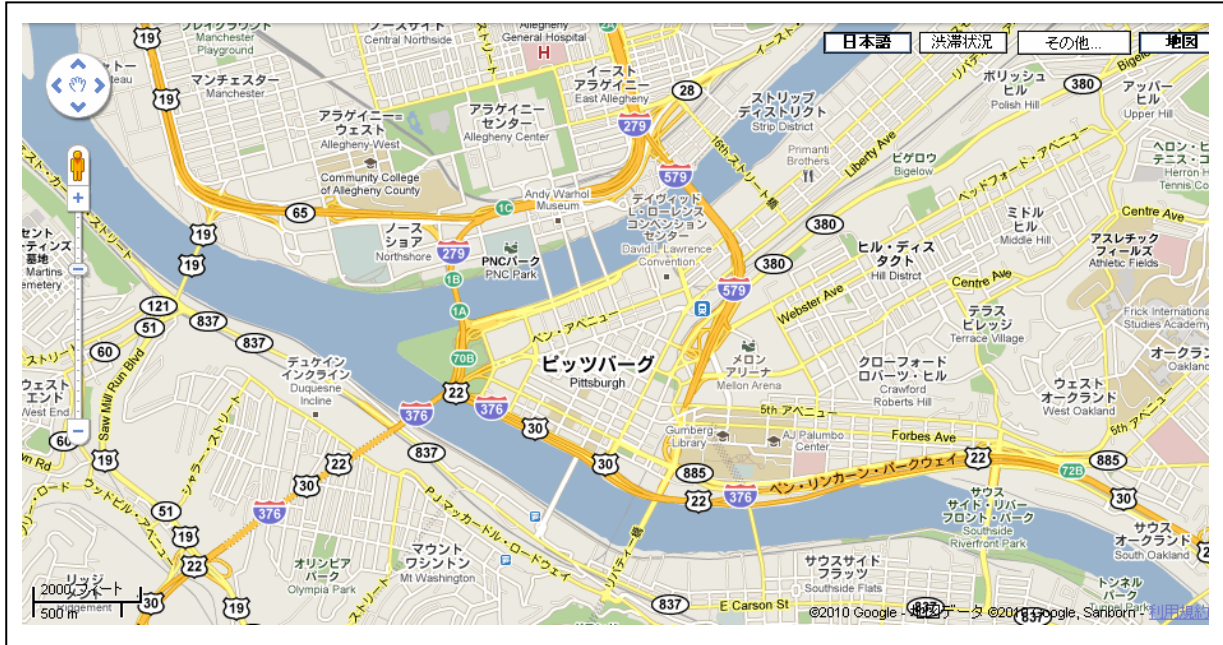
6月26日(土) フランクロイドライト落水荘 訪問

ピッツバーグ国際空港 HERZ でレンタカーを借り、約20キロのピッツバーグ中心部へ向かう。土曜は HERZ の開業時間が昼間で、日曜日は休みなのでレンタカーの返却ができないため月曜日に空港で返却することとなった。(空港の店は無休) ライトの落水荘へ向かうためには車しかない。



市内中心部街路 休日ではあるが思ったより人通りは少ない

ピッツバーグ中心部とアレゲニー川をはさんだ対岸にはハイツフィールド（アメリカンフットボール）、PNCパーク（野球場）、アレゲニーセンター、アンディーウォーホールイ美術館などがある。川沿いにはコンベンションセンター、ハイツ歴史博物館がある。



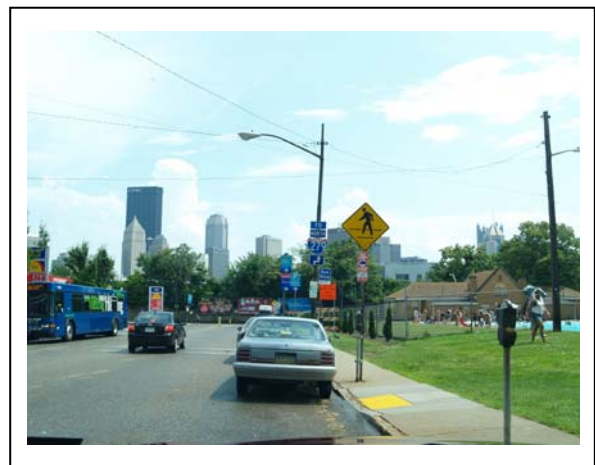
コンベンションセンター



ハイツ歴史博物館

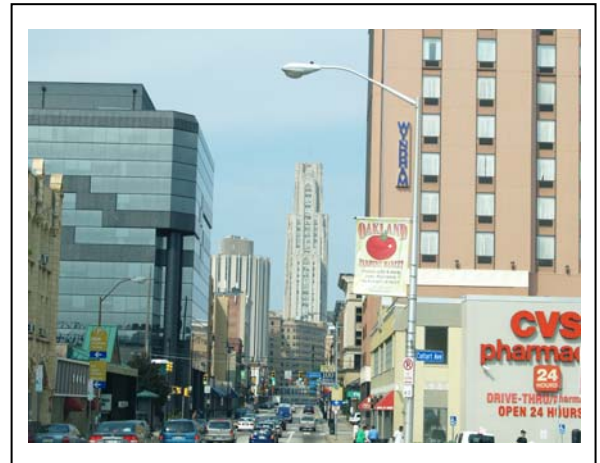
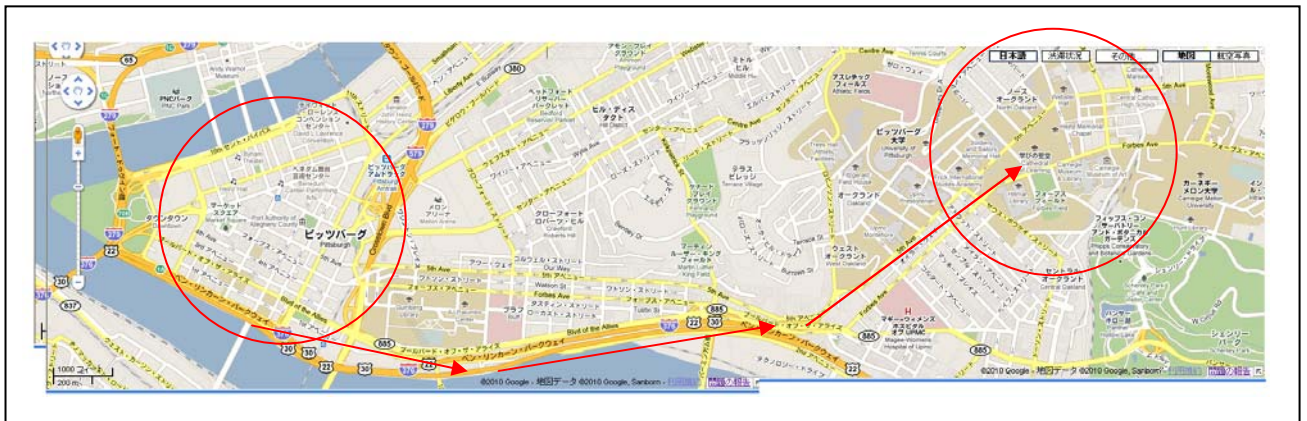


アンディーウォーホールギャラリー



中心市街地のスカイラインを見る

ピッツバーグの特徴は中心市街地にカーネギー、メロン財閥のオフィスビル、
やカウフマンのデパート（現在はメイシーズ）、ケチャップのハインツによる歴史博
物館があるなど、少数の有力者による施設があることである。メロン財閥は建物だ
けでなくメロンスクエアという公園も作っている。さらに4キロ郊外のオークラ
ンドにはカーネギー・メロン大学、カーネギー博物館もある。ビジネスセンターに
は知の供給源である大学があり、それらを有力企業家が支えているという典型的な
都市の構造である。



オークランドシビックセンター ピッツバーグ大学が見える

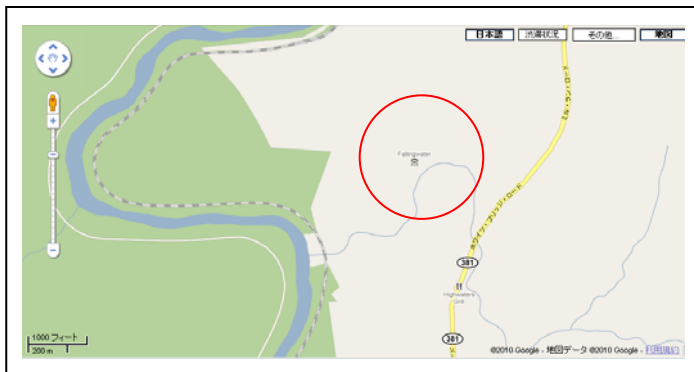
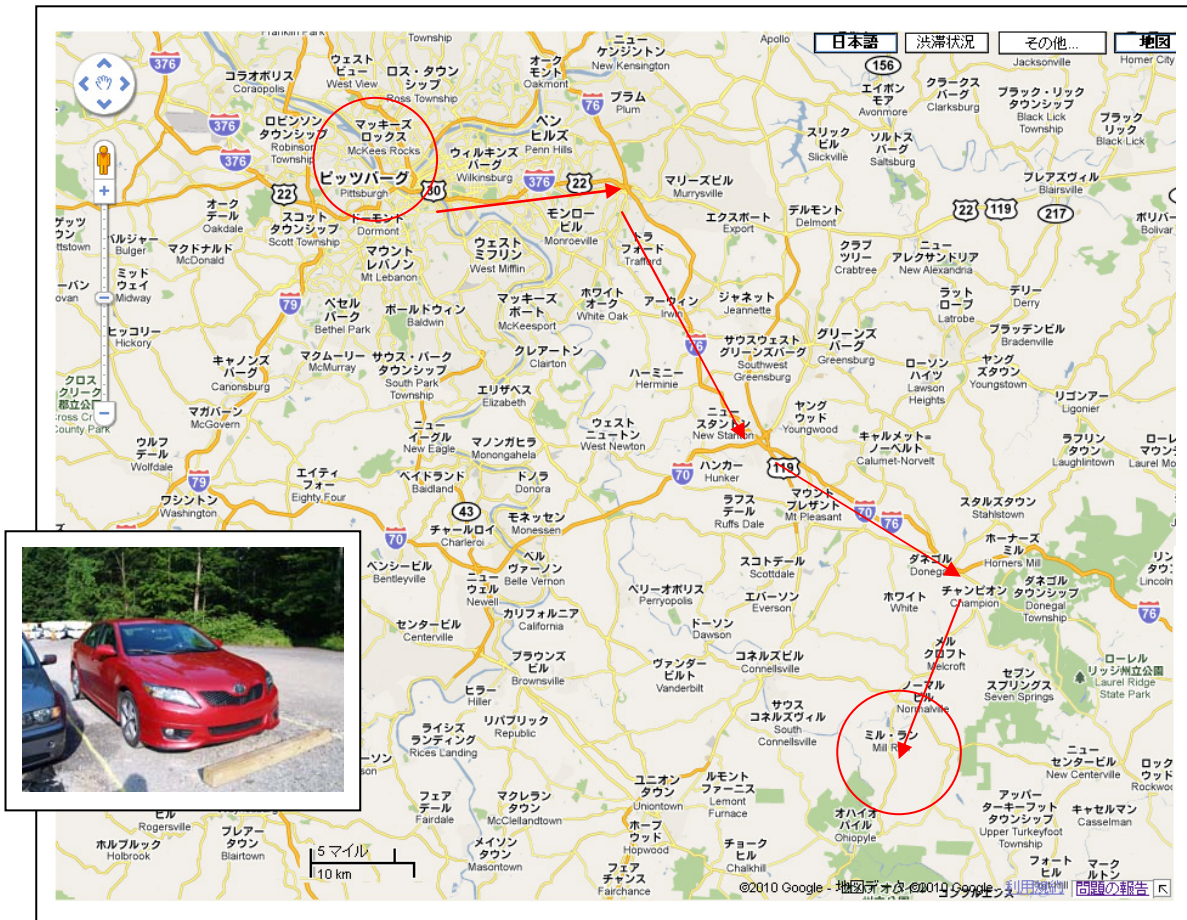


カーネギー・メロン大学



カーネギー博物館

フランクロイド・ライトの落水荘へ向かう。郊外で道が複雑なのでカーナビが不可欠であった。76号線から31号線381号線へと枝分かれして森林、農耕地帯へ入っていくミル・ランにある。約80キロの道のり。



落水荘は自然と寸法の厳しさにおいて日本の茶室に通じるものがある。